

第2回 「定住自立圏」延岡圏域共生ビジョン事前検討会（会議録）

日 時 平成21年10月28日（水）
13時半～14時45分

場 所 延岡市役所本庁 3F 講堂

出席者 検討会委員25名（6名欠席）

委員構成 延岡市 15名
日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町 各2名
合計 31名
商工・農林水産業、観光、医療・福祉、交通、情報、教育等の各団体、地域住民

1. 議 事

想定される協定項目について、事務局から説明した。

《意見等要約》

【会長】

本日は、皆さんから協定項目に関して具体的な事業案等を伺いたい。県北を一体として、安心して住める地域づくりをする、そういう視点でご意見を伺いたい。

・地域医療における日向市との関係について（延岡市委員）

定住自立圏を考えるときに、県北は一つであるという認識が重要。特に医療においては、延岡市、日向市と別個に考えるのではなく、もっと行政が連携して欲しい。

・企業立地に係る各自治体の優遇措置条例の連携を（門川町委員）

各自治体の雇用促進条例では、雇用人数に応じて奨励金を出しているが、その自治体の住民に限っている。対象住民を圏域に広げられないか。

・①林業振興について。②林業系の人材育成を（美郷町委員）

県北において林業は重要な産業であるが、生産量の半分は県北以外に出荷されており、地元で製品化がされていないという実態がある。

また、木質バイオマスの原料となる、本来捨てられる部分が高値で推移すれば林業の再生が有り得ると考える。林業振興のため行政の力を借りたい部分である。

職業系の人材育成では、工業系が全面的に出ている。九州では宮崎県のみ林業系の高校がない状況である。森林が豊富にあるという地域の特性を活かした人材育成をお願いしたい。

・職業系高等学校とは何を指しているのか。（延岡市委員）

（事務局回答）

延岡市工業振興ビジョンでは、「ものづくり高次専門学校」と表現しており、これは工業高校の一段レベルアップしたもの。秋田県米沢市では、工業高校で3年間学んだ後、さらに2年間の専門課程を設けている。

自治体の施策を紹介すると、宮城県では、実習棟の設置支援、愛知県では技術者を講師に招き高校で授業を行う事業、大阪府では教員の育成に取り組んでいる。

→（日向市委員）

県北には工業集積がなされ、本来なら高専があつて然るべき。産業を支える人材を育成するという観点で職業系高等学校の誘致というものが位置づけられていると考える。

・ **企業誘致に力を入れて取り組んでいただきたい。（延岡市委員）**

人材がないということが大きな問題であるが、こうした中、ポリテクセンターに新学科が増設されたことはすばらしい。こうした現状の書き込みができないか。

医療機器関連産業が東九州に集積しており、大分県知事は医療機器の振興を図る取組をやりたいと考えているようだ。

県北には医療機器のトップメーカーである旭化成をはじめ、九州保健福祉大学や日向市、門川町にも優秀な関連企業が立地している。

大分県に負けないよう県北が引っ張っていき、雇用創出に取り組んで欲しい。

・ **少子化対策を。（日向市委員）**

人口減少、少子化対策として、未婚者の出逢いの場の創出を入れ込んで欲しい。

・ **農業振興の取組について（延岡市委員）**

J A延岡管内では総生産量の20%しか地元消費が無い。耕作者に女性や高齢者が多いことから、大規模ではなく少量多品目生産を目指したい。

物産販売所設置の計画があるが、J A高千穂と農産物のやり取りをする話しをしている。

また、「いきいき農業塾」で農業と関わりの無かった高齢者などに農業を学ぶ機会を提供している。これは新しい雇用にもつながると考えている。

・ **救急搬送体制の確立を（高千穂町委員）**

西臼杵地区では消防が非常備で、救急搬送には役場の一般職員が交代で対応している状況であり、住民としては不安な部分である。救急搬送体制の確立を検討して欲しい。

・ **延岡市に魅力あるまちづくりを（美郷町委員）**

延岡市周辺の住民は、職場や病院など延岡市の利便性が高ければ必然的にそこに行くと思う。周辺に住むものとして延岡市には、ぜひ魅力あるまちづくりを期待したい。